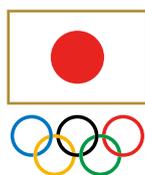


Newsletter #0

北海道・札幌 2030 ニュースレター | 創刊準備号

2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致実現に向け
オールジャパン体制へ



北海道・札幌

冬季オリンピック・
パラリンピック
の招致を目指しています





第1回北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック プロモーション委員会開催



委員会の開催にあたり挨拶する岩田圭剛会長

5月10日(火)、札幌市内で第1回の北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピックプロモーション委員会が開催されました。本委員会は、2030年冬季オリンピック・パラリンピックの招致にあたり、その議論を通じて、大会の開催意義や日本全国に大会開催のメリットがもたらされるにはどうすべきか、多くの人々の理解を得て賛同いただくことを目的に設置されました。委員会には、札幌市・北海道関係者、スポーツ界、国、関係自治体、経済界、地元関係者、そして様々な分野の有識者らが参加し、オール北海道・オールジャパン体制を象徴する委員会となりました。



第1回の会合には、岩田圭剛会長をはじめ、会場とオンライン合わせて、28名の委員が出席。遠藤利明特別顧問、橋本聖子特別顧問、室伏広治顧問にもオンラインで参加いただき、出席者全員から、オリンピック・パラリンピックを招致することの価値について、共生社会、自然環境、気候変動対策、経済効果、教育に与える影響など、様々な観点で発言がありました。



「世界一を目指しているアスリートが北海道・札幌にやってきて、子どもたちが『出会う』こと、子どもたちにとってこれを超える原体験はない。素晴らしい教育の機会となる。」



上から牧野准子委員、秋辺日出男委員、木村麻子委員

「共生社会の推進にあたっては、東京2020大会の開催が大きな契機となったが、調査では未だに障がい者がスポー

ツ施設の利用にあたって断られるケースも見られた。共生社会の実現はまだ道半ばであり、2030 年大会の開催は大きな意義がある。」

「2030 年大会が契機となって北海道の自然環境が良くなったということを世界に示せたら、北海道・札幌は素敵な開催地になっていくだろう。」

「気候変動問題の真っ只中で、どのようにメガスポーツイベントを開催すべきか、スポーツがいかに豊かさの追求や平和構築に貢献するかということを日々考えている。キーワードを一人歩きさせず、具体的なビジョン、具体的な戦略づくりを追求していくべき。」

「東京大会で培った経験は、良いところも悪いところも真摯に受け止めないといけない。学んだことをどう札幌に生かすかが一番重要。」

「北京 2022 大会では北京に雪がなく、北海道に雪がある素晴らしさを肌で感じた。雪がある素晴らしさに目を向けることはインバウンド戦略においても重要。」

「50 年ぶりに北海道・札幌で開催することは、世代を超えた記憶を作ることにも意味がある。現実的には開催にあたって様々な意見があり、事業者レベルと個人レベルでも差がある。世論からこれまで出てきたネガティブを徹底的に調べ、個人レベルで腹落ちするまで払拭していくことが必要。」

プロモーション委員会では、委員の皆さまからいただいた意見をもとに、今後も議論を一層深め、市民・道民・国民の共感を得られる 2030 年大会を描いていきます。次回の会合は、6 月 10 日（金）に開催予定です。



会議後の囲み取材の様子。多くのメディアが取材に訪れた。左から太田雄貴委員、原田雅彦委員、永瀬充委員、狩野亮委員



上から荻原健司委員（オンライン参加）、河合純一委員、菅立訓委員



左から鈴木直道副会長、秋元克広会長代行、岩田圭剛会長、山下泰裕会長代行、森和之副会長

写真（表紙除く）：アフロスポーツ

北海道・札幌 2030 オリンピック・パラリンピックプロモーション委員会名簿

(敬称略)

役職	氏名	所属等
最高顧問	麻生 太郎	スポーツ議員連盟 会長
特別顧問	遠藤 利明	スポーツ議員連盟 会長代行
	橋本 聖子	北海道オール・オリンピックズ 代表 スポーツ議員連盟 副会長 2030年オリンピック・パラリンピック冬季 競技大会招致議員連盟 会長
顧問	室伏 広治	スポーツ庁 長官
会長	岩田 圭剛	北海道商工会議所連合会 会頭 札幌商工会議所 会頭 冬季オリンピック・パラリンピック札幌招致 期成会 会長
会長代行	秋元 克広	札幌市長
	山下 泰裕	公益財団法人 日本オリンピック委員会 会長
副会長	鈴木 直道	北海道知事
	森 和之	公益財団法人 日本パラスポーツ協会 会長 日本パラリンピック委員会 会長
委員	秋辺 日出男	アイヌ文化演出家
	芦立 訓	独立行政法人 日本スポーツ振興センター 理事長
	荒井 ゆたか	スポーツ議員連盟 2030年オリンピック・パラリンピック冬季 競技大会招致議員連盟
	伊藤 雅俊	公益財団法人 日本スポーツ協会 会長
	井本 直歩子	一般社団法人 SDGs in Sports 代表
	太田 渉子	パラリンピアン (スキー・ノルディック)
	太田 雄貴	国際オリンピック委員会 委員

役職	氏名	所属等
委員	岡崎 朋美	オリンピック (スピードスケート)
	荻原 健司	長野市長
	片山 健也	ニセコ町長
	狩野 亮	パラリンピアン (スキー・アルペン)
	河合 純一	日本パラリンピック委員会 委員長
	木村 麻子	日本商工会議所 青年部 (株式会社PR 代表取締役)
	菅谷 とも子	ANAあきんど株式会社 代表取締役社長 (日本経済団体連合会推薦)
	高橋 はるみ	スポーツ議員連盟 2030年オリンピック・パラリンピック冬季 競技大会招致議員連盟
	竹中 仁美	全国商工会連合会 理事
	伊達 美和子	公益社団法人 経済同友会 副代表幹事 (森トラスト株式会社代表取締役社長)
	永瀬 充	パラリンピアン (アイスホッケー)
	原田 雅彦	オリンピック (スキー・ジャンプ) 公益財団法人 日本オリンピック委員会 理事
	日比野 暢子	桐蔭横浜大学 教授
	牧野 准子	ユニバーサルデザイン 有限会社 環工房 代表取締役
	マセソン 美季	国際パラリンピック委員会 理事
	三屋 裕子	公益財団法人 日本オリンピック委員会 副会長
	文字 一志	倶知安町長
	本橋 麻里	オリンピック (カーリング)
	米沢 則寿	帯広市長
	渡邊 守成	国際オリンピック委員会 委員

		団 体 名
特別会員		一般財団法人 札幌観光協会
		一般社団法人 札幌市スポーツ協会
		一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ協会
		一般社団法人 札幌青年会議所
		一般社団法人 日本車いすカーリング協会
		一般社団法人 日本バイアスロン連盟
		一般社団法人 日本パラアイスホッケー協会
		公益財団法人 全日本スキー連盟
		公益財団法人 日本アイスホッケー連盟
		公益財団法人 日本財団パラスポーツサポートセンター
		公益財団法人 日本スケート連盟
		公益財団法人 北海道障がい者スポーツ協会
		公益財団法人 北海道スポーツ協会
		公益社団法人 日本カーリング協会
		公益社団法人 日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟
		札幌市商店街振興組合連合会
		冬季オリンピック・パラリンピック競技団体連絡会議
		特定非営利活動法人 日本障害者スキー連盟
		北海道オール・オリンピアンズ
		北海道観光振興機構
		北海道経済同友会
		北海道経済連合会
		北海道スポーツ応援ネットワーク
メディア会員		日本放送協会
		日本民間放送連盟
役職	氏 名	所 属 等
参 与	猪谷 千春	国際オリンピック委員会 名誉委員



2030



ひとつも、まちも、 次のステージへ。

みんなで冬季オリンピック・パラリンピックを北海道・札幌に。



皆さんからのご意見を募集しています



お問い合わせ

札幌市スポーツ局招致推進部調整課
〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目 ORE札幌ビル9階
TEL:011-211-3042 FAX:011-211-3048
Eメール:olypara@city.sapporo.jp

札幌市の冬季オリンピック・パラリンピック招致に関する取組については
下記URLまたは右のQRコードからご覧ください。
<https://www.city.sapporo.jp/sports/olympic/menu.html>

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

